プリンセス
小公女セーラ

第33話

『新学期のいじわる』
（仮）

AR台本

企画 制作 日本アニメーション株式会社

プ リ ン セ ス
小 公 女 セ ー ラ

第三十三話　『新学期のいじわる』（仮）

登場人物

セーラ……………島本須美
ベッキー…………鈴木みえ
ミンチン…………中西妙子
アメリア…………梨羽由記子
ジェームス………郷里大輔
モーリー…………向殿あさみ
ラビニア…………山田栄子
ジェシー…………飯塚はるみ

ガートルード……………佐々木　るん

○

ピーター……………坂本　千夏

ロッティ……………渡辺　菜生子

アーメンガード……………八百板　万紀

ドルシラ……………

ドナルド……………堀江　美都子

ラビニアの母……………滝沢　久美子

ガラス売り（少年）……………

生　徒　達……………

カメラ	画面	音声
1	ミンチン女学院、台所（朝） 湯気の上る大鍋の蓋、蒸気でプカプカしている ジェームス急いで来てフタをとる――激しく昇る蒸気 振り返るジェームス	ジェームス「おい……セーラ!! 早くもってくるんだ!!」
2	ニンジンを切りきざんでいるベッキー ジャガイモを切っていたセーライモをザルに入れて、ジェームスの方へ持って行く	セーラ「はいー!!」
3	セーラ、ジャガイモをジェームスに渡す ジェームス、受けとり大鍋の中へ入れ、ザルをセーラに返す	
4	奥の鍋の湯気が立っている セーラ、鍋の前へ行く、手前で	

	にんじんを切っているベッキー 切ったにんじんを前の鍋に入れる		
5	カマドを開き、火を見るジェームス、中の火をかきまわす 立上り、汗をふく		ジェームス「フーッ」
6	近づき、鍋のフタをあけてオタマで中をかき回す		
7	ドア開き、モーリー、玉ネギの入ったカゴをかかえて入って来る		
8	モーリー、テーブル近より		モーリー「さあさあ、今日から生徒さんたちが戻って来るんだからね」
9	モーリー、カゴをテーブルに置く		モーリー「夏休み気分でモタモタしてると」
10	セーラ、振り返り見る		モーリー「院長先生にドヤされるよ！」

11	セーラ、テーブルに近づき		セーラ(off)「はい、モーリーさん……」
12	セーラ、玉ネギの皮をむき始める		
13	鍋をかき廻していたジェームス ふりむき		ジェームス「気をつけろよ、生徒の親が来るって事になると院長先生はピリピリだからな」
14	セーラ、顔を上げて見る セーラ、扉の方を見て		セーラ　「はい、ジェームスさん」 ミンチン(off)「セーラ！　ベッキー！」 セーラ　「はーい、院長先生！」
15	ジェームス、ニヤリとして		ジェームス「そうら、おいでなすった」
16	笑う、ジェームスとモーリー セーラ、ベッキー、ドアの方へ		ジェームス、モーリー「ハハハ……」
17	出て行くセーラ、ベッキー		
18	院長室前・ホール イライラと待つミンチン、うろ		

	うろしている 「はっ」となって地下の方を見 る	
19	一階廊下 地下から急いで上って来る セーラ、ベッキー	
20	セーラ、ベッキー、ミンチンの 前へ来て軽く頭を下げる二人	ミンチン「いいですね、間もなく親御さん方が」
21	ミンチン、セーラ、ベッキーを	ミンチン「生徒たちを送って見えます、掃除そ の他に抜かりはないですね?!」
22	セーラ、返事をして うなづくベッキー	セーラ「はい、院長先生」
23	ミンチン、教室の方へ向う つづくセーラ、ベッキー Fr・out	ミンチン「では、これから点検します」
24	教室 ドア開き、入ってくる	

	ミンチン、つづいて入ってくるベッキーとセーラ手前に来て、ジロリジロリと、教室を見回す。——後を振り返り、教卓の方へ向うミンチン		
25	ミンチン、教卓の所へ——ジロリジロリと見ながら回りこむ ミンチン、教卓の上をかがんでのぞき—— 手で、すーっとなでる		
A・C			
26	机を指でなでるミンチン 顔を見合せるセーラとベッキー 指をたしかめ——満足するミンチン、生徒の机の方へ 二人、見送ってほっとして、顔を見合せる		
27	ミンチン、スーと指で汚れてないかを確かめ あたりを見廻す		

カット	内容		台詞
30	ミンチン、窓を見に行く		
31	ミンチン、outする ?!となって、急いで窓の方へ行く、後のセーラとベッキー顔を見合せ――「?」となり ミンチンの方を見る		ミンチン「?!」
32A	窓を見るミンチン、下を見下ろす		
32B	T・U　窓枠に雀のフン		
33	ミンチン、厳しい顔になる キッとなり、振り返る		
	A・C		
34	振り返るミンチン、抑眉を逆立てている		ミンチン「なんです！　この窓の汚れは……！」
35	緊張する二人、急いで手前に走る outする		二人「ハアッ！」
36	二人、ミンチンの前を通り窓際		

	に来てのぞき込む		
37	セーラの方をのぞき込み見るベッキー 二人ちらりと見合せて、ニヤリとして振り返るベッキー		ベッキー「はあ……」
	A・C		
38	笑うベッキー		ベッキー「ハハハハ……!」
39	キリキリとなるミンチン 笑いながら答えるベッキー 目をむいて、前に出るミンチン		ミンチン「な……なにが……!」 ベッキー「院長先生!……あれは……雀の……ソソウでございます……!」
40	窓下をのぞき見るミンチン 笑い顔でうらづくベッキー ミンチン窓外の上を見上げる		ミンチン「ソソウ!!」
41	窓外、飛んで行く二、三羽の雀		
42	笑顔のベッキー ふりむくミンチン ミンチン、ジロリとふり返り		ベッキー「フ、フ、フ……」 ミンチン「なにがおかしいんです! ちゃんと拭いておきなさい!」

43	ベッキー、あわてて		ベッキー「は、はい、ただいま……！」
44	3Fの廊下に身を投げ出すように寝ているシーザー 眼をあけ起き上り、大きくのびをする 下を見るシーザー		S・E　（コツコツと登ってくる二人の足音） （ゆっくり——途中止ったりして）
45	下をのぞき見るシーザー 急いで、背を見せて奥へ行く		
46	コーナーに逃げこんでくるシーザー カゲに入って階段の方をのぞき見るシーザー 登ってくるミンチン—— 手摺りを見ながら登り最上段に来たところで止る 手摺を見る、後で見るセーラ （一緒に登って来たのです）		
47	指先で手摺をなでるミンチン 指先を見て満足げにうなづき		

	去る セーラ、ほっとしてミンチンの後につづく		ミンチン「うん！」 セーラ「フーッ！」
48	シーザー、セーラの歩きを目で追う シーザー目をつむり、眠る		S・E「扉の開閉の音」
49	部屋を見回すミンチン、後で堅くなっているセーラ つかつかと机の前に来て花を見る まじまじと見まわすミンチン		
50	飾られた部屋　PAN→		
51	きむづかしい顔のミンチン、後のセーラをちらりと見てうなづいて窓の方行くミンチン		ミンチン「ラビニアさんのお母様は……やかましい方ですから、そのつもりで」 セーラ「はい院長先生」
52	ミンチン、窓枠に近づき、周りをじろりじろり見て、指の先で窓のサンをなぞり調べる		

53	見つめるセーラ、顔を廻す（ミンチンの動きに合わせた感じ）		
54	ミンチン来る、ダンロの上の燭台をとり上げてジロリジロリと見る		S・E (off)（扉の開く音、ガチャ）
55	扉閉めて、ミンチンに近づく アメリア アメリアを見る、ミンチン ミンチン、アメリアにたずねる アメリア、おそるおそる言う		アメリア「お姉様」 ミンチン「どうしたんです、アメリア」 アメリア「あの……お姉様に、ラビニアさんを迎えに行くようにいわれていたんですけど」
56	うなづくミンチン		ミンチン「そうよ……ラビニアさんのお母様があなたに、頼むわって……」
57	アメリア前にのり出すようになるが、うつむいていく		アメリア「それが……先程から……お腹がいたくなって……」
58	ミンチン、ジロリとにらんで―		ミンチン「……お迎えに行けないっていうの…?!」

59	アメリア、上目使いに		アメリア「はい……」
60	ミンチン、顔をしかめ		ミンチン「仕様がないわね！　大事なときに…」
61	うなだれるアメリア 顔をやや上げるアメリア チラリとセーラを見るアメリア セーラ、ハッ！　として		アメリア「すみません……それで代りに……。セーラさんに行って貰っては……、いけないでしょうか……？」 セーラ「ハッ！」
62	ミンチン、びっくりして セーラを見る		ミンチン「なんですって？　セーラに……」
63	アメリア、上目使いにおそる、おそる——		アメリア「ハイ……セーラさんなら……インドから着いた時……、港の様子は見て知ってる筈ですし……」
64	ミンチン、顔を戻し		ミンチン「呆れた……。ま、仕方がないでしょう」
65	ミンチン、思いついた風に ジロリとセーラを見るミンチン		ミンチン「……ひょっとすると……先様もお前が迎えに出た方が喜ぶかも知れないからね」

66	アメリア、顔を戻し、気まずそうな顔		アメリア「お姉様……」
67	ミンチン、皮肉な笑みをアメリアに向けて――手前にくる		ミンチン「フフッ！」
68	出て行くミンチン		
69	茫然と見送るセーラ、アメリア T・U		
70	ロンドン港、輻奏する船、船		
71	港、対岸にも船が見える		
72	港の風景 馬車が進む　SLIDE		
73	探し乍ら来るセーラ（キョロキョロしながら）		
74	セーラ、手前を見たり奥を見たり		

75	船を待つ人々	
76	キョロキョロと来るセーラ 横から走って来るドナルド セーラとぶつかるドナルド	セーラ　「あっ！……」
77	ドナルド、くずれた体を起こし セーラを見て、 セーラもドナルドに向き直って	ドナルド「……ご……ごめんなさい！」 ドナルド「あれえェ？……また君に逢っちゃったね」 セーラ　「まあ……あなただったの……！ こんな所へ一人で？」
78	ドナルド、セーラに説明する	ドナルド「違うよ、ぼく、パパを送りに来たんだ」
79	セーラ、キョトンとして	セーラ　「お父様を？」
80	ドナルド、説明してから セーラに指をさして示す 振り返り見るセーラ	ドナルド「お姉さんやママと一緒なんだ…… ほら、あそこに……」
81	離れた所の馬車の脇で、ジャネット夫人、カーマイケル（スー	

	ツケースを降ろしている）		
82	ドナルド、セーラに説明する ふり返るセーラ ドナルド、うれしそうに話す		ドナルド「ほら、ぼく、この間、パパの知ってる人の家にお見舞いに行くと云ったでしょ」 セーラ「ええ……」 ドナルド「パパはね、その人に頼まれて、パリ迄、人を探しに行くんだよ」
83	セーラ感心、うなづく		セーラ「まあ、パリへ？」
84	得意な面持ちで大きくうなづくドナルド		ドナルド「うん、パパの話だと、その人の、お友だちが亡くなって、たった一人のお嬢さんの行方が判らないんだって」
85	心配げな表情のセーラ ドナルド、得意に話す セーラ、相槌ちをうつように叩頭する		セーラ「……！」 ドナルド「それで顧問弁護士のパパが代りに探しに行くのさ」 セーラ「そお……。大変なのねえ……！」
86	ドナルド、セーラにたずねる		ドナルド「君、パパやママは？」

87	セーラ、淋しく微笑で首をふり		セーラ「……亡くなったわ、二人とも……」
88	ドナルド、セーラをじっと見つめる		ドナルド「そおかあ……、可哀想な人って、どこにも沢山いるんだね」 S・E（ドラの音、カーン、カーン） ドナルド「あっ、ぼくもう行かなくちゃ」
89	ドナルド、行く 見送るセーラ、アッとなる		ドナルド「じゃ……またね……！」 セーラ「あ……気をつけて！」
90	ドナルド、通行人にぶつかりそうになる—— あやまるドナルド。進んで行く紳士 振り返り、手を振り奥へ走るドナルド		
91	ほっとして微笑して見送るセーラ		セーラ「ハアー」
92	カーマイケル、ドナルドの肩に手をやり、何かしゃべっている感じ		

	ジャネットの肩に手をやり、何 か話を、夫人に別れのあいさつ ドラの音ひときわ高く		S・E　（ドラの音）
93	セーラ、見つめている		
94	カーマイケル、タラップの方へ 向う		
95	微笑で見守るセーラ 声の方を見る		ラビニア(off)「まあ、セーラじゃないの！」
96	着飾ったラビニアとその母 二人のポーター、大型鞄を持っ て近づく		
97	セーラ 手前に近づく		セーラ　「まあ、……ラビニアさんお帰りなさ い」
98	駈け寄るセーラ、 ラビニアの母に挨拶する ラビニアの母、見渡して、アメ リアを探す		ラビニアの母「まあまあ、あなたまでお迎え御 苦労様…… アメリア先生は？」

99	セーラ、説明する		セーラ「それが……お出迎えの前になって、急にお体の具合が悪くなって……代りに私が……」
100	母親大仰におどろく 曇る母の顔 気をとりなおして明るく ラビニア冷笑して、用事を言いつける		ラビニアの母「まあ……そうだったの……、アメリア先生にお願いしておいたのに…。でも、まあ、あなたが来て下さればね、ねえ、ラビニア」 ラビニア「荷物が多いのよ。大きな馬車を呼んできて頂戴！」
101	セーラ、うなづき、にっこりと奥へ走る		セーラ「はい判りました……」
102	ニヤリと見送るラビニアと母		ラビニア「フフッ！」
103	ミンチン女学院、窓から外をのぞく生徒たち、手を振っている 一台の辻馬車が動き出す		ドルシラ「お母さん……元気でね」
104	身をのり出して見送るドルシラ 後ろにリンダ		ドルシラ「さようなら……！」

105	馬車、奥へ進む		
106	二階の窓から手を振る生徒達		生徒達　「さよならママ！」 「バイバイ、パパ」 「さよなら……」
107	手前の馬車動いていく、奥の馬車と走り出していく 見送るミンチン、アメリア、ジェームス、モーリー		
108	入れかわって、ラビニアの馬車走ってくる		
109	馬車inして停る——御者台の上からセーラ飛びおりる ミンチン達、出迎える		
110	愛想よく前に出るミンチン		ミンチン「まあ」
111	扉をあけるセーラ 高慢そうにちらりとセーラを見て、下りて来るラビニア		

	つづいて母親、降り立つ二人 ミンチン勢込んで二人の前に出る		
112	ラビニア愛想よく礼をする		ミンチン「まあ、お帰りなさいませ！ ラビニアさんお元気そうで」 ラビニアの母「ほほほ……わがままばかりで、この子ったら……」 ミンチン、ラビニアの母「ほほほ……」
113	その様子を眺めるセーラ		
114	大型鞄を担いで上ってくるジェームスとモーリー つづいてミンチンとアメリアに挟まれて、上機嫌のラビニア母娘		
115	ラビニアの母、一休みするように立止り アメリア、ミンチンも立止る ミンチン、ねぎらいの言葉をかける		ラビニアの母「なにしろ院長先生、娘には初めてのヨーロッパ旅行ざんしょ、夏休みが短かすぎて、ホホホ」 ミンチン「まあ、まあ、それは大変でございましたこと、さ、さ、さどうぞ」

116	ミンチン、ラビニアの母をうながす、三人、三階へ向う 立止って、ラビニア	
117	セーラ、ラビニアのスーツケースを提げて、重そうに上る ラビニア、ふりむき	ラビニア「早くしなさいよ!」
118	重そうに荷物もって上ってくるセーラ 手をにぎり、いらいらとするラビニア――足もとんとんとして	
119	部屋からのぞき見る生徒たち (年少ぐみ)ロッティ飛び出してくる	歓声「わー、セーラ先生!!」
120	ロッティ走ってくる FOLLOW↑	ロッティ「セーラ、ママ」
121	登りきり、手前を見てニッコリするセーラ	セーラ「はあー」

122	アーメンガード、セーラに駆け寄る　FOLLOW↑		アーメンガード「ただいま、セーラ！」
123	一斉にセーラを取囲む年少組 ラビニア、一歩退ぞく セーラ、ニッコリして話かける		セーラ　「まあ、お帰りなさい、ロッティ、アーメンガード、みんなも元気だった？」
124	アーメンガードとロッティ ニッコリする 情けない顔で		アーメンガード「ええ、この通りよ」 アーメンガード「……でも、また太っちゃったの」
125	どっと笑う一同 ラビニアの肩に手がinする 振り返るとジェシー、ガートルードがいる		一　同　「ハ、ハ、ハ」
126	ロッティ、セーラの手をひっぱり、たずねる セーラ、ニッコリして答える ロッティ、ピョンピョンとびながら、喜こぶ		ロッティ「ね、セーラ、ママ、私、大きくなった？」 セーラ　「ええ、とても大きくなったみたいよ」 ロッティ「うわあ〜い！」 一同笑う「ハ、ハ、ハ……」

127	笑う一同、のり出すラビニア はっとなって、ラビニアの方を 向く一同、シーンとなって——		ラビニア「いい加減にしてよ！」 一　同「ハッ！」
128	怒る、ラビニア、後にジェシー とガードルードがにらんでいる		
129	キョトンとして見ている、セー ラ達		
130	ラビニア、セーラに命令するよ うに		ラビニア「さ、セーラ、運ぶのよ、私の荷物」
131	ラビニア、三階への階段を上る セーラ重そうに荷物を持つ 見送る子供たち		セーラ「ええ……!!」
132	ラビニアの後を重そうに、つづ くセーラ		
133	セーラ、上へつづく		
134	心配そうに見送るロッティ達		

135	ニヤリと肩をすくめ合う ジェシー、ガートルード		ジェシー、ガートルード「フフッ」
136	ラビニアの部屋（特別室、居間） 入って来るラビニア つづいて荷物を下げたセーラ ラビニア、アゴでシャくって、 奥へ持って行けと合図をする		
137	奥の部屋から出て来る、ラビニアの母、ミンチン 立ち止まり乍らふりむき		ラビニアの母「そうなんざますのよ、うちの主人も、この学院には、もっともっと、寄附をしたいなんて申しておりましてね、ホホホ……」
138	ニコニコと頷くミンチン		ミンチン「まあ、有難う存じますわ、奥様」
139	ラビニアの方を見る母		ラビニアの母「あ、ラビニア、それじゃ、ママはカボイ・ホテルに泊りますから、アメリカに帰る前に、遊びに来るようにね」
140	ツンと頷くラビニア		
141	ミンチンの方を向き、お願いする		ラビニアの母「では院長先生、今后ともよろしくお願い致しますわ」

142	ミンチンにっこりと愛想良く 母、軽く会釈して、振り向き歩き出す	ミンチン「いいえ、こちらこそ、奥様……」
143	ラビニア、母に甘えるように抱きついて 抱いて見つめ会う二人――オデコにキスをする母―― はなれて扉の方へ歩く母、ミンチン振り返り ミンチン、愛想よく 出ていくラビニアの母、ミンチン、アメリア	ラビニア「ママ……!!」 ラビニアの母「ホホホ……まだ子供で……」 ミンチン「みなさんそうでございますよ……、でもラビニアさんお利口で」 ラビニアの母「ホホホホ……」
144	見送るラビニア	
145	出て行くアメリア、ドア閉じる	S・E（バタン）
146	見送ってラビニア セーラを見る	ラビニア「フフ、私ね、あなたに逢えるのが、ずっと楽しみだったの」

カット	内容		セリフ
147	セーラ、ラビニアを見つめて		セーラ「………」
148	ラビニア、皮肉っぽく 微笑する		ラビニア「退屈なヨーロッパ旅行よりもね…… ……なぜだか判る？」
149	セーラ「？」となり—— 首を左右に振る		セーラ「……?! いいえ……」
150	意味ありげに、椅子によりかかり、笑ってセーラをのぞき込む ラビニア くるくると回る、ゆれるスカートの裾		ラビニア「フフ……フ……」〜〜〜〜〜〜
151	回るラビニア、止り——にやりとする　T・U 唖然としているセーラ		

Aパート・おわり

152	靴を磨いているセーラ		
153	靴を磨くセーラ、ひたいに汗		
154	作業台の上に磨かれた靴が並べられている。片方の靴がおかれる		
155	汗を拭くセーラ 振り返り微笑するセーラ、つぶやく　前を向く		セーラ「……綺麗になったわ……」 S・E（振鈴の音・カラ～ン、カラ～ン） セーラ「新学期の授業が始まるんだわ……」
156	布切れやブラシをとって箱の中に、入れるセーラ 扉の方を見て　？　となるセーラ		S・E（足音（走る）） ベッキー(off)「お嬢様！」 セーラ「ん?!」
157	セーラの方を困った顔で見るベッキー		
158	「？」となったセーラ		セーラ「どうしたのベッキー」 ベッキー「ラビニアさんがお掃除が気に入らな

	向き直るセーラ 入ってくるベッキー ちょっと考えてにっこりとするセーラ		いからお嬢様を呼べって」 セーラ「え……」 ベッキー「なんだか凄く怒ってるんです」 セーラ「行ってみるわ」
160	地下から昇ってくるセーラが見える　教室の方へ out するベッキーもつづく		
161	ドアの前のセーラ　ノブに手をかけ振り返る――ベッキー、セーラに近づき――ノブを回すセーラ		
162	教室内に入って来るセーラ。つづくベッキー、クリステルなめて		
163	席についていた女生徒達（ドルシラ、リンダ）一斉に扉の方を向く		

164	立っていたラビニア、ジェシー、ガートルード、ジロリと振り返り		ラビニア「遅かったわね」
165	セーラ、ラビニアの方へ歩く 見ているロッティとジェイン		
166	セーラ、ラビニア達の前に立止り ラビニア、石盤を突き出し イヤミったらしく言う		セーラ「あの、なにか気に入らない事があったとか……」 ラビニア「これよ！ これでもちゃんと、掃除したと云えるの！」
167	セーラ、きっぱりと答える ラビニア、石盤を動かしながらいんねんをつけるように言う		セーラ「ええ、勿論きれいに拭いた筈よ」 ラビニア「見なさいよ！ 夏休み中に誰かが私の石盤を使ったのよ！」
168	セーラ、ベッキーから、ベッキーにT・Uする ベッキー、「ハッ！」となる		
169	囁き合う生徒と石盤を頭上にかざしおこるラビニア		生徒達「ヒソヒソヒソヒソ」（ＡＤＬＩＢ）

170	セーラを見つめるラビニアに T・U		
171	セーラ、石盤を見ていた顔を上げる　T・U		
172	ベッキー、うつむいていたか… 顔を上げて、前へ出る		ベッキー「あの……使ったの……私です」
173	ベッキーを見るラビニア、セーラもおどろきベッキーを見る		ラビニア「なんですって？」 セーラ　「ベッキー……！」
174	ベッキー、セーラを見て説明する　T・U セーラ、おどろく		ベッキー「いえお嬢様……私、字をおぼえたくて……夏休みに、確かにこの教室に入って石盤をお借りした事があるんです」 セーラ　「まあ……」
175	ベッキー、謝まる 「キッ！」となるラビニア―― はっとなって見るセーラとベッキー、前に出るラビニア　セーラの方を向いて、にらみつけ、くるりと振り返り背をセーラに		ベッキー「申し訳ありません」 ラビニア「やめてよ！ セーラ・ベッキー「はっ！」〜 あんたにあやまってもらっても仕様がないわ、私は、セーラに云ってるんだから……」

	向け離れていくラビニア		
176	セーラ、凝然と見返す		
177	振り返るラビニア 「きっ」とつり上る眉		ラビニア「なによ、その顔は……！　私に逆らうのね！」
178	いきなり石盤をふり上げセーラに殴ろうとする		
179	殴りかかるラビニア とっさに手で払うセーラ		ラビニア「エーイ！」 セーラ「……やめて！」
180	飛んで行く石盤（ストロボ）		
181	窓ガラスに当り　ストロボ とび散るガラス		S・E（ガチャ……）
182	「ハッ！」と見る女生徒		女生徒達「ハ……！」
183	ロッティ達も見つめる		ロッティ達「あー……」
184	セーラ・ラビニアもびっくり		二人「あーッ！」

185	床にころがる石盤とガラスの破片		
186	ラビニア、セーラを見て		ラビニア「私じゃないわ！　あんたのせいよ!!」
187	急いで入って来るミンチン　扉を閉めて見回す		
188	あわてて席につくラビニア Fr・out する		
189	席につくラビニア、ガートルード		
190	セーラ、ベッキー、出口の方へ向う　ミンチン、中へ入ってくる　ミンチン中央で止り生徒を見回す　窓の方を見て「?!」となり窓の方へ歩いていく		
191	割れた窓にT・U　ガラスの破片が落ちる		

192	ガラスの破片と石盤		
193	ミンチン、床をにらんでいたが生徒の方を見廻して		ミンチン「だれです、ガラスを割ったのは?!」
194	シーンとしてうつむいている生徒たち　スーと立ち上るラビニア　顔を見合せる者、ラビニアを見る者さまざまである		ラビニア「セーラです……」 生徒達　「（ヒソヒソ声）（ＡＤＬＩＢ）」
195	抗議のため前に出ようとするベッキー、はっとなって、手をつかみ止めるセーラ　口唇をかみしめて、こらえて首を左右に振るセーラをじっと見つめるベッキー		ラビニア(off)「……私が持っていた石盤を
196	ミンチンに説明するラビニア、奥であきれるアーメンガード		〜〜セーラが急に払って……それがガラスに当ったんです！」
197	じっとラビニアを見つめてうなづく、ミンチン、座るラビニア「キッ」となってセーラの方を		

	向く		
198	二人の方を見つめるミンチン ベッキーの手をはなすセーラ―― ミンチン、柳眉を逆立て手前、 セーラの方に来る		
199	二人の方へ行くミンチンとじっ としているラビニア　「はっ」 となって止り声の方を見るミン チンと一同		ロッティ(off)「違うわ！……」
200	怒った顔で走り寄るロッティ		ロッティ「……ちがうもん!!」
201	前に出てくるロッティ立ち止る セーラ、ロッティを止めようと して肩に手をかける　あばれて 手をふりほどくロッティ前に出 て		ロッティ「ラビニアが石盤でセーラママをぶと うとしたんだもん！……あ〜〜ん、や めてよ。それが……窓に飛んだんだも ん！」
202	キッとなってにらみ、手を握り しめるラビニア		

203	立ち上るジェシィ つづいて言うガートルード		ジェシィ(off)「何をいうのロッティったら!!」 ガートルード「いいかげんなこと言わないで…」
204	怒っているロッティ……声の方を見る一同 キッとなるミンチン 一同、ミンチンの方を見る		ジェシィ(off)「そうよそうよ！　あんたなんか見てないくせに……!!」 ミンチン「静かに！　静かにするんです！」
205	フクレテいるロッティ、うなだれるロッティを見つめるセーラ はっとなってミンチンの方を見るセーラ		ミンチン(off)「……セーラ！」 セーラ「はい！」
206	ミンチン手前に歩きながら セーラ、ミンチンの後につづく 見送るベッキー不満顔　T・U 口唇をかみオコって手を振るロッティ		ミンチン「……ついて来なさい！」 S・E（扉の開閉音） ロッティ「……フン!!」
207	一同見送っていたが、にはかに隣り同志話しを始める（ヒソヒソ声で）ラビニア、ジェシィ、ガートルードとする		生徒達「ガヤガヤ」 三人「フフッ」

208	じっと目をつむりうつむいているベッキー　近づいてベッキーの手を握り見上げるロッティ、目をあけ見つめるベッキー——	
209	にっこりとするロッティ	ロッティ「はあ」
210	廊下　ミンチンふり返り	ミンチン「理由はとも角」
211	ミンチン、アメリア、セーラを見つめて説教する	ミンチン「この学院の代表生徒であるラビニアさんを怒らせた、お前の方が悪いに決っているんです！」 アメリア「お姉様……」
212	セーラ、顔を上げる　ミンチン振り返る	セーラ「……」 S・E（扉のひらく音・ガチャ）
213	扉閉めて出て来て手前を見るベッキー　うつむきぎみに手前に歩き途中で止りもじもじしている　ベッキー、言いにくそうに	ベッキー「……あのーう……」

214	アメリアたずねて もじもじとしていたベッキー顔 を上げて話だす		アメリア「……何です、ベッキーいってごらん なさい」 ベッキー「はいー……あのーもとはといえば、 石盤をお借りした私が…… ～
215	オドオド言うベッキー		悪いス……ガラス代は私のお給料から……」
216	身をのり出すセーラ ミンチン、はきすてるように		セーラ「……ベッキー!!」 ミンチン「馬鹿な……！ 一体ガラスが幾らす るか判ってるんですか？ ……お前の ひと月分の給料をはたいても足りやし ないんですよ」
217	愕然となるベッキー うつむいてしまう		ベッキー「……え！」
218	ミンチン、口許にいやらしい笑 いを浮べて　ミンチンを見るセ ーラ		ミンチン「フフッ……セーラ、お使いの帰りに、 ガラス屋さんを…… (間) ～
219	返事するセーラ		(off) さあ、急ぐんですよ！」 セーラ「ハイ！……院長先生！」

220	表玄関――昇ってくるセーラ 立ち上り教室の方を見る		
221	破れたガラスにT・U　紙がは られている		
222	淋しげな顔で見つめるセーラ ちょっと目を下に落とし考えこ む、――　顔を上げて歩き出す		
223	街　力なく歩くセーラの足がin して奥へ進む		
224	ウインドウに力なく行くセーラ が映る（in－out）　足が入って 行く（in－out）		
225	ピーターの足が石をける		ピーター「冗ー談じゃない！」
226	ゴミと汚れに満ちた裏街をある くピーターとセーラ、石、こわ れたガス燈の間をくぐり抜ける		

227	石がドロ水の流れに落ちる		ピーター(off)「それじゃ、まるでお嬢さんのせいじゃないですか」
228	セーラのセリフ (off)→(on) 二人がやってくる――ピーター キョロキョロとして		セーラ(off)「だって、私が石盤を払ったのは間違いじゃないし、ラビニアとあれ以上争いたくなかったの」
229	汚ないしき石だたみ　ピーター の足が入って止る		ピーター(off)「だから……人が良すぎるって云うんです」
230A	こわれた家やがらくたのちらばるところ――きょろきょろとしているピーター		ピーター「このあたりにいつもいるんだけどな」
230B	不思議な顔でピーターを見るセーラ 困った顔をして、すぐ目線をそらし キョロキョロと見回す――つられて見回すセーラ		セーラ「ピーター、ガラス屋さん、この辺りなの……?!」 ピーター「え……ッ! ええ……いつもの辺に来れば……といってたんですが……」
231	裏街の小路　うす汚れた建物		

	232	233	234	235	236
PAN・DOWN 日蔭にたむろする人 奥は小さな商店街が見える人々が行き交う 家の蔭からガラス売りの少年が現れる	――うす汚れた街 ガラス売りの少年があるいていく	ガラス売りの少年が行く フォロー	汚れた街の商店街 セーラとピーターが来る止ってキョロキョロとする二人 声の方を見る二人 走り出すピーター、つづくセーラ	角を曲って出てくる少年が見える 手前から走る二人	少年立ち止る ピーター、セーラ、手前に走る 少年、ふり返る
	少年「ガラスゥー……窓ガラスの修理は〜ありませんか……ガラスゥー……!」		少年(off)「ガラスーウ……」 ピーター「あー!!」	ピーター「オーイ!!〜まってくれ!!」	少年「いやあ……ピーターじゃないか」 ピーター「やあ暫く(しばらく)、商売の方はどうだい」

237	少年、首をふり ピーター近づいて 喜ぶ少年 セーラにふり返りにっこりとするピーター　少年、セーラを見て 手を振り、にっこりとする少年		少年「駄目駄目、今日はアブレさ」 ピーター「よおし、いいお客を紹介するぜ」 少年「へえ、そいつは有難いな……〜 あんたン所かい」 セーラ「ええ……でもあまり高いと困るの」 少年「大丈夫、大丈夫」
238	少年、セーラに近づいて		少年「大きな声じゃ云えないけど、オイラのガラスは取りこわした家から拾ったおフルだからね、モトはタダなんだよ」
239	セーラ、びっくりする		セーラ「ええッ……」 少年「しいーッ」
240	少年、口に指をあてウインクする　少年、振り返り、ピーターと見合せて笑う　明るく〃わっ〃と笑う		ピーター・少年「ハハハ……」
241	振り返るミンチン		ミンチン「なんですって？　セーラが子供のガラス屋を？」
242	モーリー、ぺこぺこしながら		モーリー「はい、なんでもとても安いガラス屋

	大きくうなづくモーリー うなづき立上るミンチン	さんを見つけたからとかで……」 ミンチン「……安い……？」 モーリー「はい……」 ミンチン「安ければ結構…… ～
243	椅子に手をかけるミンチン モーリー、一礼しながら 満足げにうなづくミンチン	……すぐに直させなさい、但し、仕事はキチンとさせるんですよ」 モーリー「かしこまりました、院長先生」
244	ガス燈によりかかりポケットに手をつっこんで心配げな表情で学院の方を見つめているピーター T・U	
245	割れたガラス窓にはられている紙	
247	一階の院長室に少年を前にしたモーリー、いばって言っている セーラもいる	モーリー「いいかい、……安いからって……インチキな仕事をしたら承知しないからね！」
248		少年(off)「へへ……大丈夫ですよ奥さん」

	満足げににやりとする——がすぐ表情をいばったものにしてうなづくモーリー、教室の方へ		モーリー「……うん……!!」
249	モーリー、少年を先導する二人教室の方向う　見送るセーラ——振り返り階段の方へ向う		
250	ベットの上のエミリー　扉開いてセーラ入ってくる——扉しめて、机の方へ向う		
251	机の前に立つセーラ		
252	じっと見つめるセーラ		
253	テーブルの上のオカリナ、本、燭台、小箱の上の馬のやきもの		
254	じっと見つめるセーラ　手をのばし、馬をどかし、小箱をとる		
255	ふたをあけ箱の中から六ペンス		

	銅貨をとり出す		
256	じっと見るセーラ　T・U		
257	ドナルド、ポケットをさぐって手を差し出す		ドナルド「さ、これをあげるよ、なにか買って食べるといいよ」
258	セーラ、ゆっくり見る		
259	ドナルドの手に六ペンス		
260	セーラ、〃はっ！〃となる		セーラ「そ、そんな……」
261	かごをにぎりしめふるえる手		
262	にっこりほほえんで六ペンスを差し出しているドナルドT・B		セーラ「御親切は嬉しいですけど、〜〜〜ほんとうによろしいんです」
263	やや明るい表情にもどるセーラ		
264	明るい微笑で首を振るドナルド		ドナルド「駄目だよ、受取ってくれなくては…さ」

265	ドナルド、セーラの手に銅貨を押しつける		
266	セーラ、じっと見つめている		
267	ポケットに入れる――		
268	エミリー、扉の方へ向うセーラ 止りエミリーを見る――扉をあけて去っていくセーラ		
269	一階廊下 上からおりてくるセーラ、教室へ向う		S・E　（オルガンの音・ダンス）
270	立止るセーラ		
271	遊戯室　T・U		
272	にこにことしながら首を振りオルガンを弾くアメリア　廻りながら踊るラビニア		

273	感心して見つめる生徒たち		
274	ラビニアを見つめてにこにこと弾くアメリア		
275	セーラ、あるき出す　アウトする		
276	教室の扉が開く――セーラ教室内をのぞく		
277	ガラスにロープをかけている少年		
278	ロープをかける		
279	セーラ、扉をしめて入り、手前へ		
280	少年の方へ急いで近づく、少年気づき　振返りおき上る少年小供らしく明るく		少年「やあ丁度終った所でさあ」

281	セーラにっこりとして 窓を見るセーラ　少年も振り返り見る	セーラ「有難う……」
282	きれいに元通りになっている窓	
283	セーラ、顔を戻しにっこりとして	セーラ「あのォ、修理代の事なんだけど……」
284	少年大仰に 考える	少年「なあに、ピーターの紹介と来ちゃあ、そんなにはもらえねえさ」 セーラ「でも……」 少年「そうさ、なあ……大まけにサービスして、六ペンスも貰っとくか」
285	驚くセーラ	セーラ「まあ……」
286	少年、？となり——のぞき見るようにして申し訳なさそうに……	少年「……！……まだあ……高いかい!!」
287	セーラ、首を振り 少年、安心しておき上る　セーラ銅貨を出す　少年に渡す	セーラ「いえ……丁度よかったわ」 セーラ「……じゃ、これ……」

	手の中の銅貨を見てにっこりする少年　空中に投げ上げ　受けとる　セーラ、少年、顔を見合せニッコリ		少　年「へい、毎度ありィー」
288	表――使用人階段を上る少年		
289	少年、上へ、出てくる		
290	ピーター駈け寄る		ピーター「おい、うまくいったか？」
291	少年、ニコッとして大きくうなづく		
292	地下作業室――アイロンをかけているベッキー		
293	院長室――ミンチン、アメリア、モーリー		ミンチン「なんですって?!　修理代はいらないって言って帰ったんですか」
294	モーリーうなづき、ミンチン、アメリア		モーリー「はい、なんでも特別にサービスしとくから、ガラス代をメイドさんの給料から引いたりしないでくれ、ですって」

295	顔を見合せるミンチン、アメリア		ミンチン「まあ……なんてことを……」
296	地下作業室　アイロンの手をとめたベッキー 微笑するセーラ ベッキーのアイロンをとりかけ始める		ベッキー「では、ほんとに私のお給料からお払いしなくていいんでございますか」 セーラ「ええ、有難うベッキー、あなたの気持ちだけで充分よ。さ、仕事をかわるわ」
297	ベッキー、目に浮ぶ泪　明るくアイロンをかけるセーラ　ベッキー、目に一ぱいのなみだ		
300	手を動かすセーラ		セーラ（N）「私はピーターとベッキーの親切に、心から感謝しました。あのラビニアの気持ちが変ってくれる事を祈りながら……」
301	アイロンをかける手		
302	アイロンをかけるセーラ　かけたのをたたむベッキー　顔を見合してにっこりして、又仕事を始める F・O		

〈おわり〉